

平成29年度第4回白河市行政改革推進委員会会議録（要旨）

日 時	平成29年11月30日（金） 午後3時30分～午後5時00分
場 所	白河市役所 展望会議室
出席者	委員6名 和知裕幸委員長、瀬谷隆志委員長職務代理者、蓮田アキ子委員、鈴木長一委員 小磯厚子委員、三浦徹委員、五十嵐洋委員
白 河 市	3名 吾妻市長公室参事兼企画政策課長、藤井課長補佐兼企画政策係長、青木主任主査
配布資料	・平成29年度 白河市行政改革推進委員会による重点取組項目ヒアリング結果 （資料①） ・平成30年度 白河市行政改革推進委員会のスケジュール予定について （資料②）
公開状況	公開 傍聴者なし
<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 担当課ヒアリング結果の総括について (事務局より説明)</p> <p>・第2回と第3回の白河市行政改革推進委員会で実施した重点取組項目の担当課ヒアリングにおいて委員から出された意見・提案及び担当課の対応について、資料①を基に説明。</p> <p>委 員 長 ただいま事務局より説明がありましたが、なにかご意見等がありますか。</p> <p>委 員 公共施設のあり方検討に対する意見提案のなかで、鶴子山公園の休養施設について、資料に「仮にリフォームをしても、急激に利用が増えるとは思えない」とあるが、私は、「リフォームによって利用が増える」という意見を出したはずだ。</p> <p>事 務 局 資料の該当部については、「ほとんど利用されていないため、リフォームをするなどの対策を講じてはどうか」と訂正する。</p> <p>委 員 売りようがない、利用価値がない公有財産をまだこれからも利活用するというのは無駄ではないか。使いたい方に無料で使用させるなど、対処をもっと具体的に示してほしい。</p>	

委 員 白河市では、廃校になった校舎を再利用している例はないのか。

事 務 局 過去、表郷の旧小学校舎を再利用したが、現在は取り壊されており再利用している例はない。

委 員 学校だけでなく、利用がないため公有施設を目的外利用する例はないのか。

事 務 局 新白河ニュータウンの情報処理センターを小規模の保育施設にする転換する計画がある。他の使われない施設についても、同様に使用目的を転換して活用することを検討している。

委 員 企業が撤退、破産して敷地がそのままになっていることがあるが、市はどうか。

事 務 局 公有の建物が取り壊され、更地のまま利用されずに残っている土地については、民間企業への売却など活用の方策を検討している。

また、不要になった公有建物の対処については、関係部局で個別計画を考えており、取り壊すのか、民間譲渡するか等については今後議論していく。

委 員 関係部局でそれぞれ計画と言ったが、そのような縦割りでは対処できないのではないか。それから、建物の特性に合致し、目標・目的をしっかりとリフォームのノウハウが民間企業にあっても、行政の一存で撤去したりしては意味がないのではないか。

事 務 局 市の財政課の管財係がとりまとめながら、公共施設の利活用を議論していくが、その議論は民間にも開放して進める予定である。地域住民や施設の利用者の理解を得ながら進めていくため、勝手に施設を撤去するということはない。

委 員 公共の施設ではないが、街なかの空き店舗を借りる方に家賃補助をし、利活用を進めることが盛んだと聞くが、白河市はどうか。

事 務 局 本市でも中心市街地活性化のため、家賃補助以外に店舗を改修し貸し出す場合の改修費用の補助があるが、条件の厳しさのため利用は少ない。

委 員 空き店舗の一時利用はどうか。鏡石町で行われていたが、商店街の空き店舗を減らすため、短期の利用を希望する方に貸していたそうだ。絵が得意だから展覧会がやりたい、フリーマーケットがしたい、という場合に通常と同様に店舗やギャラリーを借りるのは、金銭的に負担になるから、空き店舗の一時利

用は需要がある。

白河市でも実施するには、商店街の方たちに一時利用者を受け入れてもらうことが重要になる。空き店舗を借りる際、返す際に商店街からの反対が生じないようにする必要がある。

事務局 白河市の街なかは地代が高いと一般的には言われている。また、チャレンジショップはマイタウン白河にあるが、もう少し空き店舗の利活用を促進する必要がある。

委員 公共施設や公有財産は、まちづくり等と連携して考えていくべきである。

委員 まちづくりのために、歩道の整備をしてはどうか。駐車場を増やすことや道路の拡張には限界があるので、歩道を整備して公共の交通機関の利用を増やすべきだ。

「歩く習慣」がこれから大切になっていくと思う。いずれガソリンは使われなくなっていくと思われるため、自動車だけ利用しているようでは時代に取り残されてしまう。

委員 民間の者から見ると、南湖公園にある翠楽苑や関の森公園は必要なか疑問に思う。

事務局 翠楽苑については観光客の評判が良いと聞く。ツアー客の食事場所として好評のようである。

委員 白河の広報紙に、南湖公園に「SHOZOCAFE」が出店すると聞いたが。

事務局 「らら楽翁」を改修し、そこに店出する予定である。人の流れが多くなることが期待される。

委員 また駐車場問題が起きるのではないかと。

委員 南湖公園付近は車の進入を禁止し、サイクリングコースにしてはどうか。せっかくだから、一部分ではなく全体のことを考えて物事に取り組んだほうが良いと思う。

委員 白河市の観光客は増えているのか。

事務局 震災後は落ち込んだが、回復してきている。

正確な統計はないが、小峰城では年間何十万人も訪れている。

委員 白河駅は甲子道路がつながったため、会津に向かう人が経由する場所になっているようだ。白河に立ち寄る人も多いのか。

事務局 高速バスに対する規制が厳しくなってから、東京から会津やさらに東北へ向かう観光客たちの中継地点となっているようである。新幹線からバスに乗り換えたり、バスからバスに乗り継いだりするのにちょうど良いらしい。

南湖公園など無料の施設は休憩地や時間調整地にできるため、白河市は旅行会社の方に「経由地」として評判が良いと聞く。

委員 白河市だけでなく、福島県全体にもいえる。日光までは観光客が来るが、そこから北は通過地点となり、そのまま弘前や函館に行ってしまうらしい。これは大きな課題だと思う。

委員 境の明神の前にある道路は拡張できないか。

事務局 たしかに歩道もなく、駐車場から明神に行くのも危ないところがある。

しかし、境の明神は史跡であるため、周辺の工事は難しい。ただ、国は今後文化財や史跡の利活用を進めていく方針なので、境の明神についても整備ができるようになる可能性はある。

委員 道の駅を作る予定はないのか。

事務局 震災のために検討を一時凍結していたが、矢吹町で道の駅の建設を予定していることもあり、これまでの経過を一旦白紙に戻して、あらためて必要性や場所などの検討を進める予定である。

委員 道の駅は地元の活性化になると聞くがどうなのか。

事務局 最近の道の駅は、単なる商業施設だけではなく、地域コミュニティのための施設として、地域の中心になることがある。うまく活用できれば地元の商店にも恩恵があり地域を活性化できる。道の駅を目的地に観光客が来ることもあるようだ。

事務局 本日の会議を踏まえて資料①を修正し、後日あらためて委員の皆様へ送付する。また、業務に反映するため担当課へも通知する

委 員 異議なし。

(2) 来年度の予定について

(事務局より説明)

- ・来年度のスケジュールについて、資料②を基に説明。

事 務 局 平成 30 年度は、今年度と同様に年 4 回の委員会を開催予定。なお、現委員は平成 30 年 8 月 9 日をもって任期満了となることから、来年度の第 1 回目の委員会において、再任の意向を確認したいと考えており、委員の皆様を検討いただきたい。

委 員 了承。

(3) その他

特になし

3 その他

特になし。

4 閉会